



安全上のご注意



ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について


表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


■誤飲による事故防止について


 警告
小さな部品や、小形の電池（ボタン形、コイン形および単4形、単5形など）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■アルカリ電池について


 警告
●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■電池／液晶表示板について

 注意
電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。
●＋（プラス）、－（マイナス）を逆に入れてください。
●新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないでください。
●指定された電池を使用してください。
●使い切った電池は速やかに取り出してください。
●長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
●電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
●電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落としてから入れてください。
液晶には毒性が含まれていますので、破損等でもれた液には直接ふれないようにしてください。

 分解禁止
分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

■使用場所について

 禁止
下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
●温度が＋50℃（50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
●温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
●ほこりが多く発生する所。（空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。）
●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。）
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●浴室など、湿気が多い所。
●温泉場など、ガスの発生する所。
●多くの油を使用する所。（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

■お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。

次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用**性能部品**（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後3年間を基準に保有しています。ただし、**外装部品**（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

CITIZEN.

電波時計

（電子音目覚まし時計）

取扱説明書

～ 製品の特長 ～

標準電波を受信して正しい時刻に修正

お買い上げありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

取扱説明書番号 E 090-CXXX

CITIZEN はシチズン時計株式会社の登録商標です。

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。

お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、製品の裏面などに表示してあります製品番号(型番)をご確認のうえ、お問い合わせください。

(例 4RLO00など)

お問い合わせ先

■お客様相談室 **フリーダイヤル ☎0120-557-005**
受付時間 9:00～17:45
(土日、祝日および当社休日を除く)

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
<http://www.rhythm.co.jp>

電波時計について

電波時計とは

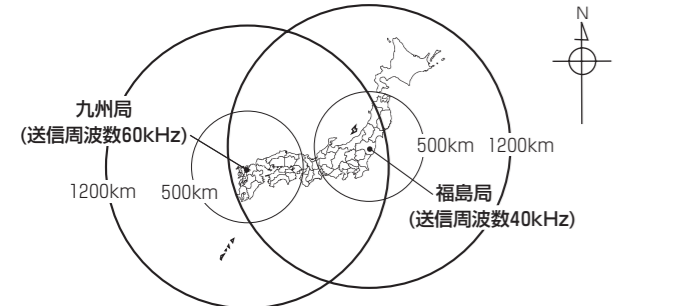
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局;おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局;はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

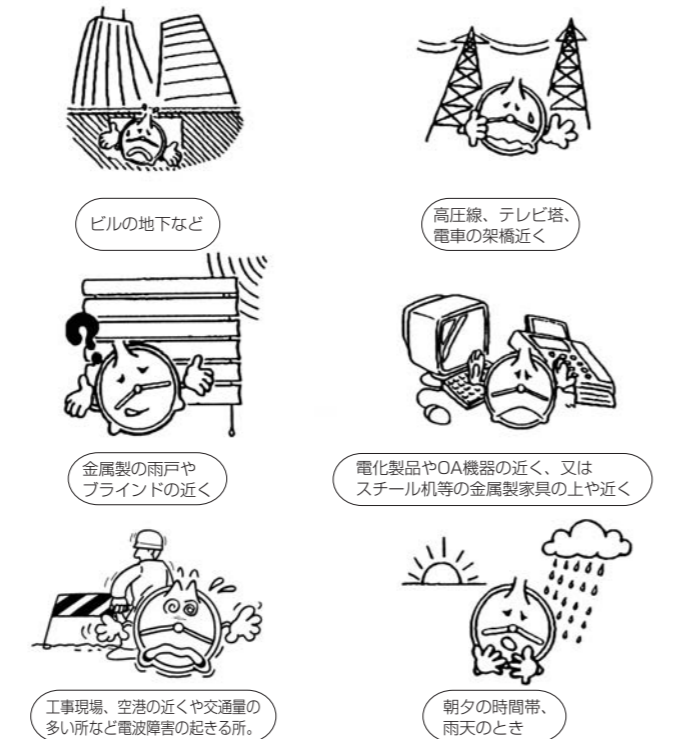
条件のよい時は、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能と想定されます。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



※受信範囲内であっても、置き場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。
※電波障害により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。

特長

■電波修正機能について
日本の標準時刻電波を受信し、時刻を自動修正することができます。

■ランダムアラーム音
アラーム音は全部で128通りありますので、鳴るごとにランダム（いろいろ）に変化します。また、128通りそれぞれが4段階で変化しながら鳴ります。

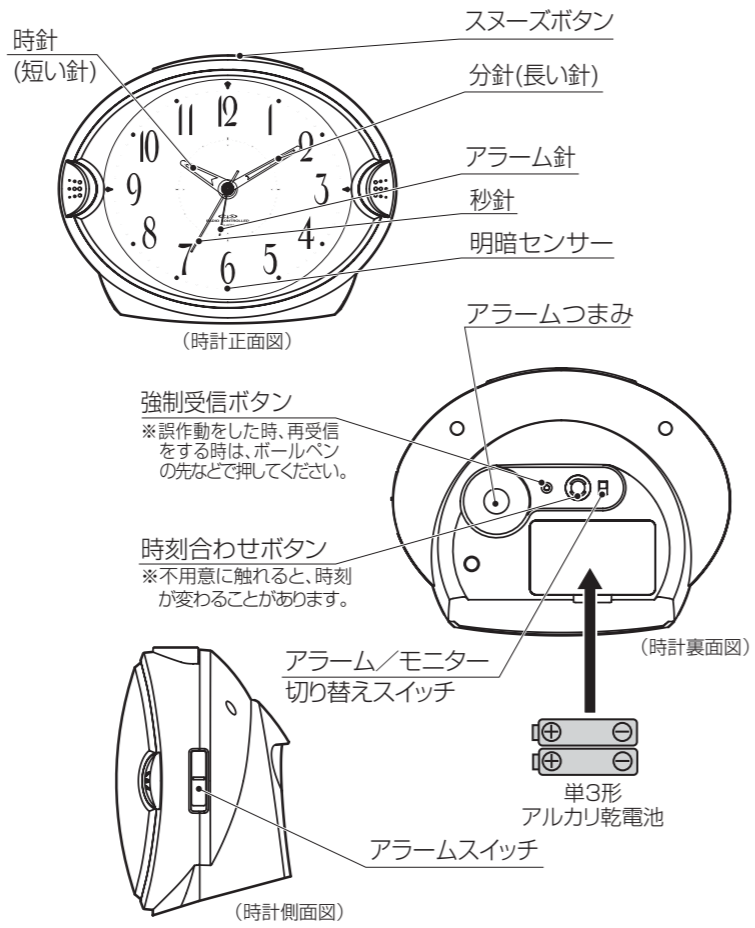
■ジャストアラーム
アラームは合わせた時刻にピッタリと鳴ります。（アラーム精度±0秒）

■電波受信確認音機能について（ジャストセッティング時報機能）
24時間以内に電波を受信している場合、明るいところでスヌーズボタンを押すと、ブ、ブ、ブ・・・ピ、ピ、ピ、ポーンと確認音が鳴り（※ポーンの音は毎0、10、20、30、40、50秒に鳴ります）電波を受信していることをお知らせします。また、腕時計等の正確な時刻合わせにも活用できます。

■明暗センサー／スリープステップ機能について
この時計には、光を感知し暗くなると秒針の動き（12時の位置で停止）を停止させるセンサーが付いていますので、夜間の気になる音がなくなります。このセンサーは、時計を設置した場所の明るさで働くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、秒針が停止する場合があります。
※自動停止している間も時・分針は正しい時刻を示しています。
※明るくなると再び秒針が正しい時刻に早送りで復帰します。

時計のご使用方法

各部の名称



1 電池ぶたを外します

時計裏面の電池ぶたを外します。

2 電池を入れます

■電池を入れる前に
アラームスイッチを「OFF」にしてください。他の位置では、電波受信の確認ができなくなったり、電波受信後、目覚まし音が鳴ってしまうことがあります。

①電池ホルダーの⊕⊖表示と単3形アルカリ乾電池の⊕⊖が同じ向きになるように入れます。
②電池ぶたを閉めます。

※電池を交換するときは、2本とも新しい同一種類のものを使用してください。
電池を交換したときには、強制受信ボタンを押して再受信させてください。

⚠ 電池の⊕⊖を入れ間違えた場合、電池の漏液・発熱・破裂する原因となり、人的・物的損害が発生することがあります。

電波を受信し、針が動き始めるまで待ちます
電池を入れると、電波受信状態に入ります。
この間、針は停止しています。
受信中は、その他のボタンには触れないでください。
およそ2分～15分後に時計・分針・秒針が早送りで時刻を指します。

電波を受信できたか確認します

電波受信に成功した場合は、明るいところでスヌーズボタンを押すと、ブ、ブ、ブ・・・ピ、ピ、ピ、ポーンと確認音が鳴ります。
※暗いところやスヌーズ機能(7)の項をご使用中は、確認音が鳴りません。それ以外の場合は、「※電波を受信できない場合」の項をご覧ください。

3 アラーム音を試します 試さない場合は4へ

アラーム（目覚まし）音を聞きたい場合は、アラーム／モニター切り替えスイッチを「モニター」にして、アラームスイッチを「ON」にすると鳴り出します。「OFF」にすると止まります。アラーム音は、「OFF」「ON」を繰り返すごとに鳴り方が変化します。（128種類の鳴り方の中からランダムに変化します。）

アラーム／モニター切り替えスイッチ
アラームスイッチ

アラーム
モニター
ON:鳴る
アラームスイッチ

※アラーム／モニター切り替えスイッチは、通常「アラーム」にしてください。

アラーム（目覚まし）の使い方

4 アラームモードにします

アラーム／モニター切り替えスイッチを「アラーム」にします。

5 アラーム（目覚まし）時刻をセットします

アラームつまみを必ず矢印の方向に回し、アラーム針を目覚まし時刻に合わせます。（アラーム時刻は10分単位でセットできます。）
※文字板のデザインにより、目覚まし時刻目盛のないタイプもあります。
※アラーム針を逆に回すと、アラーム精度が悪くなる場合があります。

アラーム針
目覚まし時刻目盛
アラーム
（例：6時20分にセットしてあります）

アラームつまみを必ず矢印の方向に回し、アラーム針を目覚まし時刻に合わせます。（アラーム時刻は10分単位でセットできます。）
※文字板のデザインにより、目覚まし時刻目盛のないタイプもあります。
※アラーム針を逆に回すと、アラーム精度が悪くなる場合があります。

6 アラームスイッチをセットします

アラームスイッチを「ON」にすると、合わせた時刻にアラームが鳴ります。アラームを止めるときは、「OFF」にします。
※アラームは、5分間鳴り続けて自動的に止まり、スヌーズ機能も停止します。（アラームオートストップ機能）
※アラームスイッチをONにしたままでは、毎日午前と午後の2回、アラームが鳴りますので、使用しないときは、OFFにしてください。

アラームスイッチ
鳴る(ON)
止まる(OFF)

アラームつまみを回してアラーム音を確認する方法

アラームつまみを回してアラーム音を確認するには、次のいずれかの方法があります。
※アラーム／モニター切り替えスイッチは「アラーム」位置にあるものとします。

①アラームスイッチを「OFF」にし、アラームつまみを回して時計が指している時刻に合せ、アラームスイッチを「ON」にしてください。
※アラームスイッチが「ON」の状態で、アラームつまみを回して時計が指している時刻に合せた場合は鳴りません。この場合、一度アラームスイッチを「OFF」にし、その後「ON」にしてください。

②アラームスイッチを「ON」にし、アラーム時刻を時計が指している時刻より約20分程度進んだ時刻に合せれば、その時刻に鳴ります。

7 アラームを繰り返し鳴らす方法（スヌーズ機能）

アラームが鳴っている間に、スヌーズボタンを押すとアラームはいったん止まり、5分後再び鳴り始めます。（再び鳴らないようにするには、アラームスイッチを「OFF」にします。）

この操作は、目覚ましセット時刻より約20～50分間有効で、この間、繰り返し鳴らすことができます。

※1 アラームオートストップ後、アラームスイッチを「OFF」にした後、再び「ON」にするとアラームが鳴り出し、スヌーズ機能も使えるようになります。
※2 スヌーズボタンを押して、アラーム音が停止しているときに、アラームスイッチを「OFF」にした後、再び「ON」にするとアラームが鳴り出し、スヌーズ機能も使えるようになります。

上記の操作は、目覚ましセット時刻より約20～50分間経過する間有効です。

蓄光性夜光塗料「ナチュライト」について

- 当社では、従来の蓄光に比べ長い時間発光するものを「ナチュライト」または「自然夜光」と称しています。（省略して「夜光」と呼称する場合があります）
- ナチュライトは紫外線を含んだ光（例 蛍光灯）により励起され発光します。白熱電球などは紫外線が少ないため光源としては適していません。
- 発光時間は、60ワット以上の蛍光灯の光を1.5m以内で30分以上直接当てた場合、8時間程度お手元で発光が確認できます。
- 蓄光の特徴として時間の経過とともに明るさが低下します。
- 目視による発光の確認は、視力などの個人差、周囲の明るさ、時計との距離などにより影響を受けます。
- 明るいところから暗いところに入った場合、目が暗さに慣れるまで発光が確認しにくいことがあります。

※電波を受信できない場合

●針が止まったり、時刻が合わない場合
強制受信ボタンを押して、2～15分間そのまま待ちます。

●朝までそのままにしておく
夜間は電波状況が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置きます。次に、強制受信ボタンを押して、2～15分間そのまま待ちます。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

- 手動での時刻の合せ方
時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。標準電波を受信できない場合の時間精度は平均月差±20秒以内になります。
時刻合わせボタンを押すと、時・分針の修正モードに入り、時計・分針・秒針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。
○時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。この時、秒針は12時位置になると停止し、時計と分針は動き続けます。
秒針の動きについて
「時刻合わせボタン」を離れた時点でゼロ秒から秒を刻み始めます。このとき秒針が12時位置に止まっていない場合は、秒針を早送りで移動します。（移動に要した時間を考慮）

こんなときには

時計・分針・秒針が反時計回りに動いたり、早送りで針が動いたままになる。
電池の残量が少なくなると、誤動作の原因になります。特に、強制受信ボタンを押したとき、あるいは自動受信したときに発生しやすくなります。このような場合は、新しい電池と交換してください。

受信できてもテレビやラジオ、電話の時報サービスと一致しない。
まれに誤受信や時計の修正タイミングにより一致しないことがあります。そのままでも後に自動修正されますが、すぐに修正したいときは強制受信ボタンを押してください。

時計が正しい時刻で動いていない。
アラームスイッチを「OFF」にして、明るいところでスヌーズボタンを押してください。
●確認音が鳴らなかった場合
「※電波を受信できない場合」をご覧ください。
●確認音が鳴った場合
強制受信ボタンを押して、2～15分間そのままお待ちください。
電池の残量が少なくなってくると、誤表示の原因になります。電池を1年近く使用している場合は、新しい電池と交換してください。

電波受信ができなくても、設定した時刻にアラームは鳴るか？
電波受信ができなくても、クォーツ精度で動作していますので、設定した時刻に鳴ります。

今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。
標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波（送信停止）することがあります。停波に関する情報は「情報通信研究機構」のホームページに掲載されています。
ホームページアドレス <http://ijiy.nict.go.jp>

松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」は使用できるか？
この時計はアルカリ乾電池の特性に合わせて設計されていますので、使用しないでください。使用した場合、時計が正常に動かない、電池の寿命が短くなるなどの不具合を生じる場合があります。